

# つなぐ

## 被災地訪問学習(3学年・1学年)

### 震災遺構大川小学校 ～ シーパルピア女川 ～ 門脇・南浜地区

12月8日(水)に3年生,12月10日(金)に1年生が被災地訪問学習を行い,震災当時の状況や震災の教訓を学びました。

大川小学校では,2人の講師の方のお話を伺いました。大川伝承の会共同代表の佐藤敏郎さんからは、「悲しみや恐怖,後悔が,助かる未来のきっかけになれば」「逃げる時間も情報も手段もあったのに救えなかった。『なぜか』を考えて欲しい。そうでない,児童や先生の命も10年間の日々も無駄になってしまう」というお話をいただきました。矢本第一中学校校長の平塚真一郎さんからは、「意思決定の際は自分の命を守ることを最優先に考えて。誰かがつないでくれた命のバトンをつないでほしい」「人は判断ミスをすることもある。備えること,念のための行動が大切」というお話をいただきました。

大川小学校を見学し終えた後はシーパルピア女川でそれぞれ昼食をとり,旧女川交番の遺構を見学しました。また,学校までの帰路で,バスの車内からではありましたが石巻南浜津波復興祈念公園や門脇小学校を見学しました。

「大川小学校は『未来を拓く』場所」と佐藤さんはおっしゃっています。もうすぐ東日本大震災発災から11年が経ちます。災害から命を守るについて「自分だったらどうするか」を考えてみてください。



佐藤さんによる案内



裏山に登って見た大川小学校

#### <生徒のコメント> (被災地訪問学習振り返りシートより一部抜粋)

##### ●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・被災地は寂しくて悲しくて悲劇の場所というだけでなく,これからの災害への教訓で「未来を拓く」場所だということを知った。つらい過去だとしても,これから生まれるたくさんの命を守るために「残す」ことや「語り継ぐ」ことも大切だと思った。
- ・「経験をもとに判断すると,経験は時にじゃまをする」という言葉が印象に残った。大人の判断が間違っていることもあるので,自分の判断も忘れずにしたいと思う。
- ・判断を間違えてしまえば命を落とすかもしれないこと,今自分が生きていられることは当たり前ではないこと,自分一人で生きているわけではないことなど,これまで深く考えてこなかったことを改めて考えさせられました。
- ・この経験・話をつないでいくことで未来の子どもたちの命を守っていけると思った。私たちの判断で守れる命を守っていきたい。

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと（続き）

- ・辛い記憶を消すのではなく語り継いでいくことでみんなの記憶に残り、二度と同じ事が起きないようにしていくことが私たちにできることだと改めて感じた。私たちはチャンスを与えられた幸運な子だったんだと思う。このチャンスが無駄にしないように生きていきたい。
- ・悩む、考えるということは素晴らしいことであり、未来があるということで、自分は生かされている人間なんだということが分かりました。
- ・今生きていることに感謝しようと思った。

●今後災害が起きたとき、または災害に備えて、自分自身ができること

|    | 発災前  | 発災後  |
|----|--|--|
| 自助 | <p style="text-align: center;"><b>自分ができる備え</b></p> <p>ハザードマップ・避難所の確認 / 家具の固定 / 水・食料の備蓄 / モバイルバッテリーの準備 / ラジオやランタンの充電 / 日用品・ろうそく・マッチ・タオルの準備 / テレビなどの情報から知識を得る / 自分のいる場所の地形を知って避難ルートを確認する / 持ち出す物（貴重品など）の確認 / 発災時に自分がどう動くかイメージする / 連絡手段の確認</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">事前にできることはたくさんありますね!</p>                                | <p style="text-align: center;"><b>災害が起きたときに自分ができること</b></p> <p>自分の身を守る・自分の命を優先する / 念のための行動をする / 気持ちを落ち着かせて少しでも冷静な判断ができるようにし、何が正しいか見極める / 暑さ・寒さ対策 / ニュースやラジオで情報を集める / みんなの意見に流されない / 他の人にSOSのサインをいち早く伝える / 炊き出しの手伝い / ネットの情報に流されない / 安全な場所に避難する / 災害が起きた場所に戻らない / 親に連絡する</p>                                      |
| 共助 | <p style="text-align: center;"><b>周りの人との協力・関わりでできる備え</b></p> <p>・家族（地域の人）とハザードマップ・避難所・集まる場所の確認をする（共通認識） / 震災を語り継ぐ / 水・食料の備蓄 / 他の人と助け合うような地域関係を築き、顔を知っておく / 発災時の役割を決めておく / 連絡手段を決めておく / 周りの人とよく話す / 訓練をする（町全体でも） / 子ども・高齢者のいる家を把握し、コミュニケーションをとる / 避難所の非常食やその他の物の確認 / エレベーターの閉じ込め対策 / 使い捨てトイレの準備 / 体の不自由な人の補助 / ポスターやプリントなどでの呼びかけ / 避難マニュアルを何度も検討し、今よりも良いものにする / 自治体などで海などの近くに住んでいる人たちに事前講習を聞く</p> | <p style="text-align: center;"><b>災害が起きたときの助け合い</b></p> <p>食料の分配 / 掃除・片付け / 互いに手と手を取り合い、協力し合う / 自分の身が安全になってから、余裕があれば他の人を助ける / 場所の譲り合い / 励まし合う / 一人ではできないことも何人かでやればできることもある。地域で協力して助け合い、命を守る / みんなを落ち着かせる / けがをした人の応急処置 / 避難者の誘導 / 1人である人に声をかける / 1人の意見に流されない / ボランティア / 避難所で子どものお世話をする / 震災を語り継ぐ / 精神的な支えになる</p> |

学校防災だより

涌高のHPでも見られます。

涌谷高校 学校だより

